

前回のあらすじ

前回、キーアイテムの1つ Green Stone Idol を Ib と Bokrug の手から命からがらタッチダウンし、そのまま夢からログアウトした PT。

バグ利用スレスレの方法でキーアイテムをゲットするも、Mklwh は Feeblemind を受けてアババー状態、その他の面子も Bokrug の威容を見て SAN 値がヤバイ感じに。

まだまだ Dreamland の調査は残っているが、どう乗り切るのか？

船旅 16 日目：治癒タイムは稼ぎタイムではない

Mklwh が Feeblemind をうけて無力化されているため、他の人たちで昼を乗り切ることになった。といっても大半は調査のために引きこもってるけど。幸いワンダリングはなし。

雇われ NPC の調査は順調で、Captain's Tricone と Red Webbed Foot の追加情報が得られる。さらに Lyushin の調査で Night Hag の調査が完了し、キーワードを得る。

その後、前夜のダメージを癒すために夢の儀式を使い、もはや何も起こらない Caravan Serai へと向かう。Restoration や Psychic Surgery をバフ盛り Mee が UMD で使い、Mklwh の Feeblemind を癒やそうとする。1 回失敗するも最終的に Mklwh は正気に戻る。よかったね！

船旅 17 日目：Night hag ambassador's heartstone

■ Night Hag との交渉

朝、Mayu は Heal スクロールの書き写しに専念。

調査班は本を開拓したりするも、Skull of ghoulish royalty の情報は見つけれず、新情報も沸かず。

本番は夜。今回は Night Hag の場所へ向かうべく、昨日得たキーワードを用いて儀式を遂行。成功すると、甘い匂いが漂う薄暗い部屋に出現する。Lyushin はこの臭いがアヘンのそれだと感じく。いわゆる阿片窟というヤツだが、内装は豪華で周囲の人物も身なりは良い方。そして同じ部屋に Night Hag の Ambassador Quaveandra もいる。ロールパンタイム。

Lyushin 「我々は物質界から来ました」

→ Hag 「ほうなるほど。何のために来た？」

Mayu/Axe 「ロールズを追ってきた」

→ Hag 「あのゴロツキのことか？（怒りを見せる）」

どうやら、ロールズは Quaveandra の政敵と組んで、Heartstone を盗んでしまったようだ。Skyrim と違って Hag は Heartstone を盗まれても死ぬわけではなく再度作成することもできるが、魂売りの仕事はしばらくできなくなり、何よりも屈辱的なことのようなのだ。言い換えれば、我々も彼女の Heartstone を戦闘を経ずに得られる可能性があるということ。我々がロールズの仲間だとしたら切り刻んでやる、と息巻く Quaveandra をなだめる PT。

Mayu/Lyushin 「今ロールズはどこに？」

→ Hag 「知らないが情報は探っている。知りたければ、取引だ」

Quaveandra は、この阿片窟に政敵の内通者がひそんでいると睨んでいる。容疑者 3 名までの絞り込みしかできていないため、最後の調査を我々に頼んできた。

その内偵の報酬をどう切り出すかについて、PT は一時相談タイム。相談の結果、方向性としては「1 対 1 の情報交換 MTG を設けてもらう（そこで襲撃をかける）」という野蛮な感じに。しかし Divination をすると「正直なのはよいことだ」というお告げが……やはり、素直に Heartstone をねだるのがよさそう。

Axe 「Heartstone が欲しい。ロールズを追うために必要なものなのだ」

→ Hag 「新たに Heartstone を作るための素材と休暇期間を補填するため、2000gp くれるなら OK」

夢の中の出費はまったく財布が傷まないの、よい取引である。しかし相手は商売人、厳格な契約の形で同意を迫られる。

Hag の随員が雛形を書き、契約書を見せてくる。PT はそれをバフ盛り Linguistics で精査するが、問題はなさそう。

■ 容疑者探しタイム：カヴリキ

容疑者が 3 人まで絞られているため、その中から決定することに。

Quaveandra の私的な事務室を尋問室として良いと言われる。しかしここに 7 人も入ると狭すぎる……。

- ・容疑者 1：アマネッタ。召使い、Hag の日常生活をよく知る
- ・容疑者 2：ドル・テス。出入りの商人、大げさな男、ごまかしの言葉が多い
- ・容疑者 3：カヴリキ。楽師、常に仮面を被り、喋らない

まずは仮面の者カヴリキを部屋に通す。髪は長く、声色からもうやうや女性のような。

Lyushin 「その仮面はなんですか？」 → Kav 「……………」

Mklwh 「いくつか占術使っている？」 → Kav 「(無言でうなずく)(いくつか魔法のアイテムを持っていた)」

Youl 「ロールズ知ってる？」 → (否定)

Axe 「Sense Motive できないから仮面とってよ」 → (否定。Intimidate しても失敗。つよい)

Mayu 「この阿片窟で仕事を？」 → Kav 「Quaveandra に雇われている」

Mklwh 「内通者に心当たりある？」 → Kav 「ない」 (Axe の Discern Lies に嘘反応あり)

Axe 「嘘だな (ギラリ)」 → (Mayu の真意看破で相手の動揺がわかる)

Mayu 「このまま Quaveandra に疑われっぱなしでいいの？」 → Kav 「あの女にどうしてそこまで肩入れする？」

Youl 「ビジネスパートナーだから」

ここまで言うと、カヴリキは「やつはどうしようもない Evil。契約書に第三者が絡まないと、殺さ

れて終わりだぞ」と釘を刺してくる。

どうやら彼女にとって Quaveandra は故郷を滅ぼした張本人であり、心象は最悪のようだ。カヴリキも Evil だけど。

それでもこちらとしては、契約はすでにやってしまったこと。Hag ともカヴリキともビジネスライクに事を済ませたい旨を伝え、カヴリキは溜息とともに「私は Hag を殺したいから協力して」と提案をしてくる。

Kav 「アイツの周囲には随員がいるが、私が自由の身であれば足止めはできる」

Kav 「あと、この机の下にあるボタンを押すと毒が出るぞ。私が仕掛けた」

カヴリキとの間に襲撃開始の合言葉「いま何時ですか？」を共有し、別れる。

■ 容疑者探しタイム：ほか 2 人

口頭で共謀関係を結んだものの、容疑者割り出しの任務はカヴリキ 1 人を差し出すことで終わる状況。

しかしほか 2 人もまた内通者である可能性も否定できないため、一応は尋問を続けることに。

2 人目の容疑者はドルテス (CE)

Mklwh 「内通者に心当たりない？」→ Dol 「わからぬ」(嘘はなさそう)

Mayu 「Quaveandra にどういう印象がある？」→ Dol 「この街にいいヤツなんていないよ」

Mklwh 「Hag に悪感情を抱いてるやつの心当たりは」→ Dol 「奴は恨まれる星の下にある」

なんか無害そう。

最後の容疑者はアマネッタ (LE)

Mklwh 「内通者に心当たりない？」→ Amma 「なんですかそれは！？」

Mayu 「暗殺未遂とかあるけど、手引き者がいるっぽいのです」→ Amma 「怪しい行動とは」

Axe 「Hag の生活パターンを漏らしてそうな人は」

→ Amma 「目立ってそういうことをしてる人は知らない」(嘘はない)

Amma 「なぜそんなことを私に聞くのですか？」

→ Mklwh 「あなたが一番親しいので、彼女の周囲の事情を把握してるはず (Bluff 成功)」

なんか無害そう。

■ 最終弁論 (?)

3 人の尋問を終え、PT 内でこれからの動きを検討する。いろいろ話すも、大筋は「心臓さえ貰えれば OK」ということで、Hag との交渉を継続しつつ殴り込みも OK の方針。野蛮だね。

カヴリキに対しては「Hag には容疑者として伝える。『Hag が裏切ることを信じて連行しつつ共闘する』か『カヴリキの身柄を拘束しないので逃げて次の機会を待つ』の 2 つの選択肢がある」と伝える。とにもかくにも Hag の出方が分からないため、とりあえずカヴリキは我々が連行せず Hag の召喚を待つ形となる。

さて、広間に戻って Quaveandra の御前へ。PT はカヴリキが内通者であることを伝えた。当然、カヴリキが拘束されそうになるが、PT は迅速な契約終了を求める。Quaveandra はそれに応じ素直に Heartstone を渡してくるが、Lyushin の Appraise により偽物であることがすぐに分かった。まあここまでは予想の範疇。

Hag 「5000gp 相当のものを 2000gp で手に入れたのだからいいじゃないか」

→ Mayu 「Heartstone を渡すと契約にあったじゃないか！」

→ Hag 「仕方ない、本物を渡そう」

意外と素直に本物も渡してくれる Quaveandra。PT は若干面食らう。そして本当に契約終了となり、Quaveandra はカヴリキの身柄を拘束しようとする……が、その途端カヴリキは縮地から Hag の背後を取る。楽師と名乗っていたが、本性は Bard ではなく Monk だったようだ。戦闘開始。

……といってもこっちは Heartstone を獲得したんでログアウトしても構わない状況、カヴリキもかなり強そうな Monk。めいめい出方の合意が取れず、しどろもどろ。

まず「義によって助太刀」の体で Youl が Spiritual Weapon を行使するも、Hag の SR に弾かれる。Axe は Youl に「契約は終了したんだから帰るぞ！」、カヴリキに「すまない…」と残して背を向ける。Mklwh は随員も巻き込んで Fireball を撃つもやはり Hag には効かず。

Hag は Scroll から Cone of Cold を放つも、Heartstone を失ったために他の攻撃はだいたい Magic Missile 程度。でもなぜか SR と AC だけが凄まじく高い。

結局は Hag が憎い Mklwh と Youl、カヴリキに同情的な態度を取っていた Lyushin だけが戦闘を継続し、他のメンツは離れて傍観者となる。

最終的に Mklwh の全力攻撃からのカヴリキの連撃が決まって Hag は倒れた。

残るはカヴリキ。流れとしては彼女は拘束されかけ、我々との約束は半ば破られた形である。しかし最終的に PT の協力もあって復讐は為された。我々を殴りたい気持ちを抑え、カヴリキは手を合わせて会釈したのち去っていったのだった。

まあいろいろあったけど、Heartstone ゲットである。ついでに偽の Heartstone (5000gp) も。

18 日目 : Red webbed foot

朝はエンカウンターがあったけど、弱かったので一蹴。

Viscount 's signet ring の調査が進む。ピエトロ・グレインはすごいやつなので屋敷で何が起こっても来賓は動じないらしい。

Red webbed foot の調査が完了。赤い脚を持つ Wamp が生息するのは Ceramic Necropolis という場所、行き方も判明。

Captain's tricorne の調査が完了。Bloodwind が停泊しているとされる地域に行けるようになった。

さて夜。DM の読み込みの関係から、Ceramic Necropolis に向かうことにする。
儀式を完成させると、PT は墓場めいた街路に出る。名前通りに陶器が多い風景で、植物めいたものも尽くセラミック化している。建物は石造りのようだが、総じて黄色っぽい。

ログインして早々、こちらを伺っている視線に気づくが、襲ってみればただの Ghast なので一蹴。

しかし Ghast は「Destroy しないでください！お腹が減ってるだけなのです。変な生き物が餌を根こそぎ持っていったのです」と命乞いをする。どうやら、彼から餌場を奪ったその生き物が Wamp なのだろう。Wamp の群れが餌場の墓場で死体を暴いているようだ。
とりあえず Ghast は協力的になったのでいろいろ聞く。

Ghast 「墓場は動く人形が護っている。生きた人型生物を襲うようだ」

Ghast 「行くなら近くまで道案内するから、そのかわり見逃してね」

Ghast の証言も元にして Knowledge 勢が Wamp の病気攻撃以外について思い出そうとするが、病気は Zombie Rot であることくらいしかわからない。

実際に墓場に行ってみると、門の前には2体の陶器人形、奥の墓所に6匹の Wamp。Mklwh が超遠距離から釣り Fireball を撃ち込んで開戦。注意をひこうと Lyushin が人の幻影を投射するが、どちらの敵からも反応はなし。目論見通り Wamp は近づいてきたので、謎の陶器マンは戦闘から除外できたようだ。

墓所から離れた位置で戦線を張ろうとするも、Wamp はなぜか中型にもかかわらず Trumple を行い、ズカズカと後衛に切り込んでくる。しかし Trumple への AoO などで良いダメージを叩き出し、誰も病気にならずに殲滅したのであった。

Ghast は餌場を解放してくれたお礼に、Lion Shield, Sun Blade, Mantle of Spell Resistance をくれる
.....Dreamland 限定とはいえ、あまりにも大盤振る舞いすぎる。
どうやら天変地異でここがセラミック化する前からあった遺物のようだ。

とりあえず Red webbed foot も剥ぎ取り完了。

しかし Dreamland 探索はようやく折り返し地点.....まだまだ掛かりそうだ。